

平成28年11月15日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

GLが予定しております臨時株主総会について

当社の重要な子会社でありますSET(タイ証券取引所)上場のDigital Finance会社Group Lease PCL(以下GL)は、平成28年12月6日開催予定の臨時株主総会において各種の議案を上程しております。これにつき、当社の見解をお知らせいたします。

本株主総会についてはタイ証券取引所の規則上、IFA(独立ファイナンシャルアドバイザー)の設置が義務付けられている項目があり、その意見の中で、GLが発行しますCD(転換社債)の価格について、①GL株式は急速に価格を上昇させており、転換価格は約100タイバーツが適正価格で70タイバーツという転換価格は容易に到達する可能性が高い、②5%の利息が付利されているが、GLの格付けや財務上の安定性が高いことから、本来は金利2.10%~3.37%程度であるべきであるなどの見解が示され、当該議案に反対するなどの意見が表明されております。

当社は以下のように考えております。

- ① この度の引受先であるJTRUST ASIA PTE. LTD.並びにCreation Investments Sri Lanka LLC.はGL社の良好な戦略的パートナーであり、GL社の将来の事業成長に寄与すること
- ② 転換価格70タイバーツは昨日の終値の44タイバーツに比べて59.1%上回っており、価格や保有比率の希薄化が低いこと
- ③ 今後のGL社の拡大を考え、これまでの実績を考慮すれば十分にリターンが見込まれること
- ④ 仮に70タイバーツに株価がなるとすれば、その時点での時価総額は1,292億タイバーツ(約3,941億円)と現在の724億タイバーツ(約2,210億円)と比べて大きく成長していることとなります。すなわち戦略的パートナーがGL社の潜在的成長力を評価しての投資であること

などから当該発行は適切なものであり、当社にとっても当社の純利益や実質株主純資産を増加させるに十分に資するものであると確信しております。

またその他の議案についても、スリランカCCF社（Commercial Credit and Finance Plc）、ミャンマーBG社（BG MICROFINANCE MYANMAR CO., LTD.）の買収、インドネシアBJT（PT Bank JTrust Indonesia Tbk.）やミャンマーBAGAN社（Bagan Innovation Technology Pte. Ltd.）への出資、ミャンマーAMK Consortiumとそのグループ企業であるCentury Finance Co., Ltd.との資本業務提携などについて承認を求めるものとなっており、GL社の将来の成長が見込まれる内容となっており、すべての議案に対して歓迎しております。

以 上